

2025年11月13日
図書館でのより良い医療健康情報のあり方を考える2025年～科学的根拠に基づく予防・健康づくり～
「知ってほしい、予防や早期発見・健康づくりにつながる健康医療情報」

図書館の立場から
～利用者目線に合わせた情報提供と、
予防・健康づくりに向けた場づくり～

川崎市教育委員会
川崎市立宮前図書館 館長
舟田 彰



illustration by mitsuhiko shino

1

1 予防医学に図書館が不可欠な理由 (Why Library?)

◆なぜ図書館と教育が必要か？

→地域施策の「核」として情報格差の壁を乗り越える



- ・がん対策基本法（社会教育）
- ・認知症施策推進大綱（情報発信拠点）
- ・地域包括ケアシステム（情報格差解消と社会参加）

2



地域の生活に身近な「図書館」

- ・敷居の低い、社会的に公的な施設である。
- ・無料でだれもが利用できる施設。
- ・自分の生きるために信頼できる情報源を提供し、情報リテラシーを育成し、コミュニティ形成の場を提供。
- ・さらに、生涯学習を支援するなど、重要な役割を果たす場である。

2 図書館の強み:地域予防の普遍的資源

① アクセスの普遍性



「誰でも/土日/用事なし」

② 資源の信頼性



「科学的根拠/公的チラシ・パンフレット」

③ 居場所の機能



「安心/孤立防止/メンタルヘルス」



4

3 【アクション1】一次予防:知識と行動変容の支援

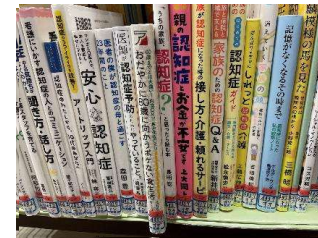
①「信頼できる情報提供」

②「情報リテラシーの向上」
(講座、コーナー)

③「健康行動への変容」
(一次予防)

5

①「信頼できる情報提供」



•6



7



2015年12月から常設
認知症関連
常設コーナー

•8

アルツハイマー月間の認知症理解啓発に関するコーナー
×健康福祉局若年性認知症サポートデスク



9



区役所実施の介護セミナー
に絡め

「介護に関する本」

10

常に見えるところで啓発
地域の福祉の窓口
「地域包括支援センター」
機関誌配布場所



11

【出張図書館】

介護に関する相談会（向丘出張所）



12

食育の普及啓発「管理栄養士が選んだ本」

保健所



13

こころのケアしていますか？

健康福祉局の総合リハビリテーション推進センター
企画・連携推進課



14

自殺予防啓発 常設コーナー



15



16

常に見えるところで啓発
「予防医学」の視点でチラシ・ポスター掲示



17

健康に過ごすための予防啓発

健康福祉局健康増進課



18

常に見えるところで啓発
「予防医学」の視点でフレイル予防ポスター掲示



19

②「情報リテラシーの向上」(講座、コーナー)

20

◆読み聞かせと乳幼児の応急手当

宮前消防署
救急救命士



21

◆がん啓発セミナー

個別相談会 + 講演 + 関連者の紹介

市民公開講座
がん相談支援センター × 宮前図書館

**不安やがん情報との
上手な向き合い方**

2025年
2/9(日)
15:30~18:30
(18:00 開場) 宮前市民会館 1階
(宮前文化センター1階)

講師 若尾文彦 先生
がん相談支援センター がん相談支援センター がん相談支援センター

対象 どなたでも 定員 120名 参加費 無料

締切 1/27

参加申し込み済み二次元バーコード

お問い合わせは川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室 ☎044-200-3801

主催 川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室 協賛 がん相談支援センター 川崎市健康福祉局 川崎市健康福祉局 川崎市健康福祉局



・がん相談支援センター
・健康福祉局地域包括ケア推進室

22

◆認知症当事者からの「発信」

■報告者のメッセージ

『麒麟模様の馬を見た』 ～幻視とわたし～

レビイ・小幡型認知症の当事者である、三浦朝子さん。認知症とともに幻視が見える。幻視と向き合い、これから取り組んでいきたいことや、地域で活動されているお話を聞き、これから出版された書籍『麒麟模様の馬を見た』の发售を中継にお聞きします。後半は川崎市若年性認知症サポートデスクの渡辺真子さんの対談で締めくくります。

■日時:11月23日(祝・水)10時~12時

■会場:宮前市民会館 第2会議室(宮前文化センター内 3F)

■開場:宮前市民会館 第2会議室 10時

■講師:三浦朝子 氏(レビイ・小幡型認知症の当事者 元全日本学生選手権)

■聞き手:渡辺 真子 氏(若年性認知症サポートデスク)

【同時開催「幻視イラスト展」】
三浦朝子さんの幻視をイラストで表現する。宮前市民会館にて、観覧無料。11月19日(土)~12月18日(日)まで

参加方法は要領:よくお読みください



・当事者からの発信が認知症当事者へ勇気を与える。
・川崎市若年性認知症サポートデスクとの連携により、事業計画から実施まで連携し、事業が進めることができた。

23

◆介護セミナー

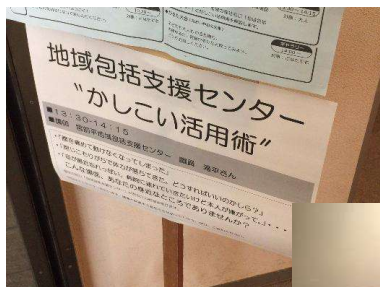
宮前平地域包括支援センター

「親の介護について考える」～介護保険制度とは?～ 親の介護なんてまだまだ先!

【介護離職について考える】講師:宮前平地域包括支援センター 内山センター長
2017年12月開催。介護保険制度を通しての40~50歳代へ投げかけを目的としたセミナー。



24



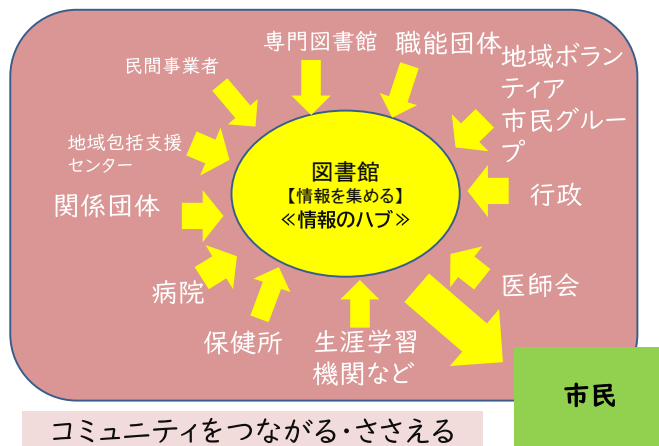
25

③「健康行動への変容」(一次予防)



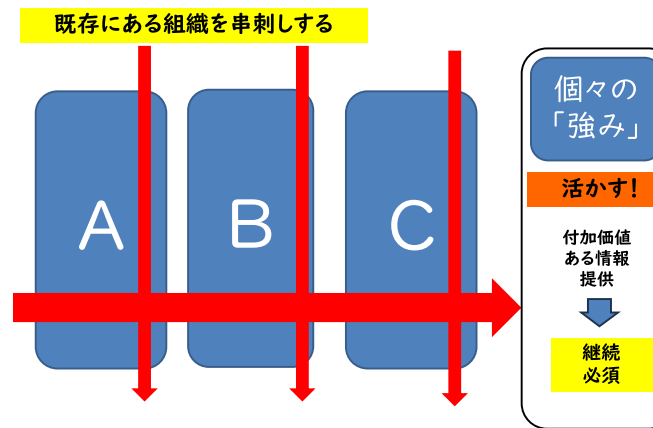
26

5 【アクション2】地域ケア圈を支える「連携拠点」



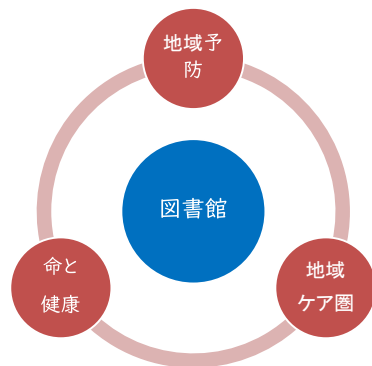
27

縦だけではなく横も



28

6 まとめ 図書館は「地域予防のインフラ」



29

ご清聴ありがとうございました

何かありましたら、お気軽にお声がけください。

検索 図書館協会 健康寿命

講演会 日本図書館協会 図知蔵/パブリック図書館 特別検討チーム 研究会
"健康寿命"の鍵は本棚にあった!
 ～高齢者と図書館の関係について～

「自治体の図書館機能数が多いほど、地域の高齢者の介護リスクが低い」
 万人を救える良薬の民間流通問題によって得られた奇跡の事実。結果として、自治体の図書館機能数が多いほど、地域の高齢者の介護リスクが低いことが明らかになった。この事実を明らかにし、自治体の図書館機能の重要性を伝える。自治体の図書館機能の重要性を伝える。自治体の図書館機能の重要性を伝える。

日時 令和7年12月4日(木)午後2時～3時(予定)
講師 佐藤 豪竜先生(慶應義塾大学 総合政策学部 専任講師)
定員・会場等 A.会場:60名/日本図書館協会 研修室
 B.オンライン(ZOOM) 別途招待は後日ご案内
 事前予約制/無料
 ※申込締切 令和7年12月1日(月)
 ※定員に達し次第、締め切ります。お早めにお申し込みください。
 次のフォームからお申し込みください
 ※【申込フォームURL】
<https://forms.gle/1GknVnQFj3Y6T0uA>

対象 図書館員、地方自治体職員(健康・福祉・まちづくり関係)、研究者、図書館に関心のある方

会場アクセス 日本図書館協会
 〒164-8632 東京都中央区新大塚1-11-16
 (地下鉄有楽町線 目黒駅 徒歩10分、有楽町線 大塚駅 徒歩5分)

主催 日本図書館協会 / 企画 東京15区図書館協会 図知蔵/パブリック図書館 特別検討チーム



川崎市教育委員会
 川崎市立宮前図書館 館長
 舟田 彰

30